

事業事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事業名	市有林造林保育費				
担当係名	農林課	林務係	作成者	田口幸栄	
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち			総合計画の ページ
	基本計画	森林の整備と林業の振興			
	主要施策	森林施業の促進			66
予算費目	一般会計	6款 農業費	2項 林業費	2目 林業振興費	
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度	新規／継続の区分		継続	
性質区分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☒ 内部管理				
根拠法令等	なし				
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☐ 直営（一部民間委託） ☒ 民間委託(全部) ☐ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域林業従事者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	資産価値を上昇させるため適期の施業を行い、加えて林業従事者等に施業の委託を行うことにより、技能者の育成・新たな雇用者の創出・若年労働者の確保を図る。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	造林地の育成状態により、適期に除伐・枝打・間伐・主伐を行う。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

項目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	林内生産活動を活性化する。	ha	84	151
	成果指標				
投下コスト	項目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		22,417	30,145	
	国庫支出金		6,923	13,865	
	県支出金		2,307	4,621	
	地方債		6,700	11,600	
	その他				
	一般財源		6,487	59	
	人件費 (B)	—	1,335	2,018	
	職員数	—	0.2	0.3	
	職員平均人件費	—	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト	—	23,752	32,163	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	283,099	213,014	
		—			
	市民1人当たりのコスト(円)	—	745	1,024	

【事務事業の今までの成果】

--

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	国は森林機能の向上を、二酸化炭素排出削減の効果を上げるための取組みのひとつにとらえ、より今後間伐事業並びに生産材の搬出を助成していくものと思われる。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	林業従事者にとっては、公有林は大事な就労の場と位置づけられている。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	今後の市の財産にもなり、又林業従事者の雇用の場確保の上からも、継続することが大事と考えられる。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	森林整備の観点から引き続き必要な事業と考える。

一次評価診断図

